

# 地域参画コミュニティ型学校運営

## 学校運営協議会 委員の皆さまの振り返りから



学校運営協議会は、地域住民、保護者、学校運営に資する活動を行う者、学識経験者、校長などが構成メンバーとなり、委員の皆さまが学校運営への参画や連携・協働を進めることで、保護者や地域住民と学校が一体となった学校運営の改善や、児童の健全育成に取り組むことを役割としています。本校の学校運営協議会については、夏休み直前号の学校だよりでお知らせしております。

本校では、土曜塾で10年以上ご指導いただいている「なかよし英語」の松永秋男様を会長とし、本年度は、4回の協議会を行い学校運営に対するご意見をいただきました。一部となりますが、ご紹介いたします。

- 委員の皆さまからのアンケートより（抜粋）
  - ・ コミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的推進について文部科学大臣からの表彰やソニー子ども科学教育プログラムの最優秀賞授業は、地域と学校のこれまでの積み重ねが評価された。
  - ・ 子どもが自己選択、自己決定する授業実践が素晴らしい。園でも、自分で遊びや、活動場所を決められる子を育てる取組をしているので、白幡小学校の実践と繋がると思った。
  - ・ いちようの会による土曜塾は、参加している多くの子の励みになっている。また、挨拶ができる子どもが増えてきたように感じている。
  - ・ 対話、会話を大切にしつつ、引き続き、低学年からICTを有効に使った授業を期待したい。

今後も学校運営協議会の皆さまのご意見やご助言をいただきながら、学校運営の改善を進めてまいります。